

歯周病が さまざまな病気の原因に!?

歯周病菌は歯ぐきの血管から全身に入り、様々な病気を引き起こします。
歯周病の進行を予防することは、全身の健康を守ることに繋がります。

病名の文字が

赤は生活習慣病

青はそれ以外の歯周病と
関係がある要注意の
病気

狭心症・心筋梗塞

血液で心臓に運ばれた歯周病菌が
血管に血栓を形成することでリス
クが高まる。

心内膜炎

歯周病菌が心臓の弁などに付着し
て炎症を引き起こし、心内膜炎を
発症する原因になる。

糖尿病

糖尿病の人は歯周病が重症化しや
すく、歯周病の治療をすると糖尿
病がよくなるなど、強い因果関係が
確認されている。両方同時に治療
しないと治療効果が上がりにくい。

胎児の低体重・早産

妊娠中は女性ホルモンの影響で
歯周病のリスクが上昇する。歯周
病の炎症により、早産リスクが上
昇し、赤ちゃんが低出生体重で生
まれやすい。また妊娠中の歯周病
の存在は妊娠30週以降の胎児の
成長を遅延させやすいため、妊娠
する前に歯周病を治療しておく
ことが重要である。

がん

歯周病によりがんのリスクが高まる
可能性がある。

認知症

認知症発症には様々な要因がある
が、歯周病もその1つであると考え
られている。また、成人が歯を失う
最大の原因は歯周病で、歯を抜け
たままにしておくことで認知症を
発症しやすいことがわかっている。

動脈硬化

歯周病菌が動脈硬化を促進。血管
が詰まりやすくなり、脳梗塞や狭
心症、心筋梗塞などを引き起こす。

誤嚥性肺炎

歯周病菌など、口の中の細菌が気
管に入り込み、肺炎にかかること
も。寝たきりの人や、脳卒中の後
遺症などで飲み込む力が低下し
ていると起こりやすくなる。

肥満

肥満はさまざまな生活習慣病の
温床。歯周病菌が肝臓と脂肪組織
に脂肪を沈着させる。

骨粗しょう症

骨粗しょう症の患者は歯周病にか
かりやすく、重症化しやすい傾向
にある。

感染症への影響

歯周病菌はウイルス等の粘膜細胞内の侵入を促す特性があるため、感染症の発症や重症化を招きやすくなる。また、歯周病の悪化により、歯が抜けて食べられるものが減ると栄養状態が悪化し、免疫力が落ちて、感染症にかかりやすくなる。

歯を失って後悔する前に... STOP! 歯周病

「歯科医院は、痛くなってから行くところ」だと思いませんか? 歯周病は痛みがないまま進行していきます。
半年に1回は、かかりつけ歯科医へ行き、お口の健康状態を把握しましょう!

